

テーマ:

花粉

を出さない

スギ



役立つ「遺伝子・DNA研究」の紹介

今では国民の約4割が悩まされている花粉症。そのような中、救世手として注目されている「無花粉スギ」について調べてみました。

初めて無花粉スギが発見されたのは、富山のとある神社です。自然界では5000本から1万本に1本、突然変異によって偶然生まれるそうです。

その後の研究により、スギの中には無花粉に関連する遺伝子が含まれていることが分かり、その遺伝子を人工交配させることにより数を増やしていきました。これからさらに花粉を出さないスギの苗木が増えていけば、花粉の少ない森づくりに大きく貢献すると考えられています。これが実現できれば花粉症患者の数もかなり減少すると言われています。さらに無花粉スギは通常のスギより成育速度が速いため、短期間での収穫が可能で、木材資源を安定して供給することもできます。成育速度が速いことは、土地災害の防止や二酸化炭素の吸収などの森林が持つ機能の維持・向上にもつながります。

ただし、無花粉スギは、まだ日本中に広げることができていません。無花粉スギは、人工交配してから完成までに最短で4年ほどかかるからです。需要に対しての生産が追いつくようになるまでに、もう少し早く時間が必要なようです。

私も1年中花粉症に悩まされている花粉症患者ですが、花粉症の大きな原因であるスギが無花粉スギへと変わっていけば、今よりも生活しやすくなるのだろうなと思いました。ただ、遺伝子組み換えによってスギの生殖器官である花粉をなくしてしまうことに反対している人もいるようなので、機会があれば、もっと詳しく反対派意見も調べ、読んでみたいです。メリット・デメリットを理解したうえで、遺伝子技術により生物にも環境にも優しい地球を作ってほしいです。

参考文献 ①Yahoo! Japan SDGs「無花粉スギで花粉症はなくなる!?実は進化している山の現状」
②ORICON NEWS「国民4割が花粉症の今も植え替えが進まない理由」

